

小中学校めぐり(永岡小学校)

学校からの要望に応え、5.6年生には「他の世界もある事を知り、広い視野を持って欲しい」と参加型学習を、3.4年生には「とにかく楽しく学習させたい」とユニセフより講師をお呼びし、「見て・体験し」世界の子供たちに関心を持ち、自分たちに何が出来るか考える機会を持ちました。

面白いと思う好奇心を大事に下さい。

① 国際理解ワークショップ「異文化は面白い！」

道具ランゲージ1 他国の道具にふれ、その使い方をグループで考えました。初めて見る物に興味津々!!



《児童からの感想》
 ・世界に目を向けてみると色々な文化があると知った。日本では考えられないような事があり驚いた。
 ・グループで意見を出し合うのが楽しかった。

日時:11月6日(金) 10:30~12:10
 場所:永岡小学校 体育館
 参加者:5.6年生 33名・教職員 4名(計 37名)
 講師:吉田武夫さん
 (元青年海外協力隊/ネパール王国,理数科教師)
 主催:金ヶ崎町国際交流協会
 講師派遣元:独立行政法人国際協力機構(JICA)東北支部



共通の道具、この黒い物体は何!??

黒くてコロコロした物体を見た子どもたちは「うわあ〜気持ち悪い(TOT)」と、さてこれは何かな?

「薬、スパイス、お茶、食料」など多種多様な意見が!

【答え】

食物、芋虫の乾物
 芋虫のおかずです。→



この道具は、お祭りで使う楽器だと思えます。スペインはお祭りが多そうなのでスペインで使われている物です。

おいしい! 沖縄伝統楽器で“四つ竹”といいますが。カスタネットのよう使い音を出します。



道具ランゲージ2



ある NGO 団体で使用している道具です。何に使われる物か分かりますか? 6年生には、何処で、何故、使うかを知っている生徒がいっぱいいました。

【答え】「国境なき医師団」が、子供の腕の太さで栄養状態をはかる時に使う道具です。「命の腕輪」といいます。緑は大丈夫、黄色は少し危ない状態、オレンジは相当危ない、赤は死が近いを表します。医療品が足りない時には、「治療をするか/しないか」を選別する道具としても使われます。

《児童からの感想》日本では最後まで治療してくれるけど他の国では、駄目だから見捨てる時もあると知り悲しくなった。



② ユニセフ講座「世界の子供たちの現状を知ろう」

世界地図の色塗り

5歳を迎える前に命を失う子供の割合を調べ、世界地図に色を塗りました。生徒は色塗りに没頭しました。地図の中から国を見つける早さにビックリです!!



《1000人生まれのうち》
 200人以上…赤
 100人~199人…オレンジ
 70人~99人…黄色
 21人~69人…緑
 20人以下…水色
アフリカと南アジアで多くの子供たちが亡くなっています。日本は1000人中4人です。



日時:11月11日(水) 10:30~12:10
 場所:永岡小学校 図書室
 参加者:3.4年生 34名・教職員 2名(計 36名)
 講師:(財)日本ユニセフ協会岩手県支部より 4名
 主催:金ヶ崎町国際交流協会

持てるかな??水がめの体験

重いく。ネパールの子供は大変だ。



ネパールでは水くみは女児の仕事です。水がめいっぱいに入ると約 15Kg になります。今回は重さを 5Kg にし、3.4年生全員がチャレンジしました!!



すぐろくをしながら「ユニセフの活動」を勉強しました。このすぐろくは、ユニセフ岩手県支部さんの手作りです。短い時間の中、みんなで仲良くできました(*^-^)